

全薬会議・道修町ニュース 第9号

2005年10月

全薬会議・10.21 薬業総行動&総会



今年度2回目となる「秋の薬業総行動」は10月21日(金)8:30分、霞ヶ関・厚生労働省付近でのビラ配布からスタートしました。

10:30 目黒区にある国立病院機構を訪問、全国にある国立病院(146施設)での後発品の使用実態と促進、代替調剤に関して等々については話し合いました(機構側3名出席)。13:00からは厚生労働省で約2時間15分の交渉や要請が行われました。全薬側20名、厚労省側10名の出席、制限時間内での交渉である為①健康保険改悪・老人医療無料化・年金改悪など②医薬品の産業政策(中小製薬企業の経営、雇用不安解消への政策、後発品使用促進など)③企業不祥事と厚労省の責任(申請資料公表問題など)④薬害救済⑤労使正常化(アステラス製薬仙頭さん)に絞って交渉、怒りの為声を荒げる場面もあり白熱した要請交渉でした。今回大阪保険医協会と全薬道修町の懇談会のテーマでもあります「非処方せん医薬品」について発言の機会

があったため、厚労省として非処方せん医薬品をどのように捕らえているのか、又この中には劇薬指定医薬品も入っているが安全性等に問題はないのかを投げかけてみました。結果、回答はしどろもどろで明確な答えはありませんでした。15:50 製薬協訪問①産業政策・リストラ②職場での健康被害対策③アステラス製薬仙頭さん差別問題など製薬協としての見解とメーカーへの指導を要請しました。17:00 アステラス製薬本社訪問、仙頭さん女性(賃金昇格)差別問題について要請、その後17:30~18:15アステラス製薬本社、となりの第一三共製薬本社前で仙頭さん争議支援ビラを巻き「総行動」を終了しました。翌22日(土)10:00~12:30「幹事会」13:15~16:30「全薬会議第17回総会」が行われました。総会では日本ケミファの全面的な和解成立についての報告と11月28日(月)PM6:30 東京上野「東天紅」にて「ケミファ争議全面解決集会」を開催する旨の発言がありました。さらに今後の活動、新役員の選出などがあり終了しました。



「平和を守ろう OM九条の会」が発足しました！

10月19日、大阪の医薬品卸・メーカー・医療機器ディーラー・メーカーに働く人々が約370人集って「OM九条の会」(Osaka Medicine)が発足しました。

発足式では、九条の会事務局長の東大・小森陽一教授の「平和が生きるとき」の記念講演がありました。

とても解りやすい講演に、会場全体に「憲法九条」の大切さが染みとおった様な雰囲気が感じられました。またお国言葉で語る「憲法九条」やリレートーク「私と平和・憲法九条」、楽しい「クイズで憲法を」のパフォーマンス等・・・、和やかな雰囲気の中にも参加者の決意が示されました。

尚、全薬会議のメンバーも受付やリレートークに参加して会の世話役として奮闘しました。

「“こぶし” 争議解決 100 件達成の集い」に参加して

FIGHT!



1988年5月、8人で結成された“地域労組こぶし”は結成以来、7年4ヶ月で争議解決100件を達成しました。組合員数は現在102分会、143人です。

この争議解決100件を記念して去る9月14日グリーン会館において「記念集会」が開催され、80人弱の参加者のもと成功裏のうちに終了、我全葉道修町からも6名が参加し達成を祝いました。特筆すべきは、全葉道修町と共に闘った森下仁丹の井筒さんも札幌から参加され(みなさまからの交通費カンパ改めて御

礼申し上げます)なつかしい話などに花が咲きました(のんべえおやじは全然変わっていませんでした)。さらに大阪での井筒さんの活動に共鳴し、札幌で闘う仲間達が札幌ローカルユニオン「結」を立ち上げ、結成総会にこぶしの江口書記長が来賓として参加されました。私も9月末札幌の海鮮料理屋で北海道料理を囲んで井筒さんと交流を深めて参りました。話を聞いているうちに「一人はみんなの為、みんなは一人の為」組合運動精神を再認識、井筒さんの「生きてる」瞬間をかいま見た気がしました。(K記)

「鴨川床料理へのいざない」に参加して

突然の選挙で中止となった全葉道修町主催「鴨川床料理へのいざない」でしたが、強い要望があり有志12名にて9月24日(土)実施されました。

爽やかな秋晴れの夕刻、鴨川の清流を眺めながらの床料理はまさに絶品の美味しさでした。いきなりの焼き松茸に舌つつみ、冷えた青竹の御銚子からそそがれた京都の地酒は芳醇なまろやかさで、床料理の味をいっそうひきたててくれます。Sさんの用意してくれた「京ことば」解説抜粋を解説しながら「ハンナリ」と呑みふける予定でしたが、宴も半ばに入った頃はいつもの居酒屋モードに突入、呑めや歌えの大騒ぎ、記憶もこのへんからプツリ消えていました…。みなさん青竹徳利にはご注意ください！

そして、最後に食した「ブズケ」はこれまた格別でした。

京都であるがゆえの床料理、来年もきっと…。

今回の「鴨川床料理へのいざない」にご尽力いただいたHさん、ありがとうございました。

道修町ニュース・コラム：闘いの秋来たる



総選挙は自民党の圧勝に終わった。小泉首相の「郵政民営化に賛成か反対かで国民の信を問う」との大芝居にマスコミも乗っかって得た勝利であった。しかし、与党の獲得票は半分にすぎず、郵政民営化とて国民の信を得たとはとても言えない。小選挙区制度のなせる技である。小泉首相のだましのテクニックの最たるものは、憲法改悪問題、増税問題を全く争点から外しておきながら、選挙で圧勝するやいなや、「国民の信を得た」とばかりに早速、憲法改悪、増税に走り出した。アジア外交なにをするものぞとばかりに、靖国参拝の愚挙を繰り返した。輪をかけて今度は、高齢者に大きな負担となる医療制度改革を打ち出した。衆議院議員3分の2を超える勢力を得た今、「小泉改革」の総仕上げに入ろうとしている。まさに、闘いの秋来たるである。(N記)

全国薬業労働者連絡会議（全薬会議）・道修町

連絡先：大阪市淀川区西宮原町2-6-64 日本シェーリング労組内 全薬会議大阪ブロック気付
TEL：06-6392-5690 FAX：06-6392-5691